

平成30年度 第1回がまごおり協働まちづくり会議議事要旨

日時 平成30年4月26日（木）

午前10時～12時15分

場所 蒲郡市役所新館6階601会議室

1 開会

事務局より配布資料の確認、途中退席者の確認

2 議題

(1) 会長の選任について

委員の委嘱

会長の選任（吉村輝彦教授）

委員の自己紹介

(2) 平成29年度第5回議事要旨の確認について（別紙1）

○事務局より第5回まちづくり会議議事要旨を説明

- ・申請団体より「ほとぼしる情熱支援部門」という助成金名称は、やる気にあふれている団体向けという印象だが、実際の制度と差異があるように感じる。といった意見が上がった。ただし、その名称を変更してほしいとまでは言ってはいなかった。
→議事要旨を変更することで対応。

(3) 平成29年度に議論した内容について（別紙2）

○事務局より平成29年度の5回の会議において、議論した内容を説明

- ・公共性の範囲が分かりづらい。市全体を対象とするのか、自分の活動範囲のみを対象とするのか明確にしていただけると助かる。
- ・飲食を少しでいいので、補助金から支出できるようにしてほしい。
- ・自治会の負担増が懸念される。
- ・なにから取り組めるのか分からないことが多い。市側からこんなことやってみましよう、と提案していただけると助かる。
- ・いきいきサロンはやり方、広がり方がよかった。同じように市がひとつやってみて、こんなのどうですかと地域に示してくれるとありがたい。
- ・市側からの提案は、「やらなくていけない」ことになってしまうかもしれない。
- ・“義務”ではなくて、やるとよいことは積極的に地域へ示してほしい。
- ・地域の課題と市でやらなければならない課題が一致したときに、どういう対応するのか。その時に人材の関わり方等の話が上手にできればよいと思う。

(4) 平成30年度まちづくり事業について（別紙3）

○事務局より人材育成連続講座について説明

- ・人材育成連続講座については、とりあえず講座を1つ実施してみる。そこで出た反省点等を活かして、年度中にもう1回開催できればよいと考えている。
- ・講座終了後には、既存団体との交流会を実施できれば更に人の輪づくりにつながる。
- ・60～65歳世代の最も動ける人たちに対する講座が効果的。また、まちに対する気付きの視点や時間的な拘束が少ない子育て中の母親達には、託児があればまちづくりへの参加を促しやすい。
- ・講座に人が集まるのか心配。反対に有料講座もありなのかもしれない。自分が学びたいと志が高い人もいるのではないか。無料で集めてしまっても、どれだけ効果があるのか疑問。
- ・あらゆる世代の人が集まった講座もありなのかなと思う。大学の講義のようなイメージ。
- ・窓口を広く考えて、気軽に参加できるような講座の方がよい。
- ・男性にとって講座への参加はハードルが高い。有料の方が入っていきやすいかも。
- ・いきなり講座は敷居が高いと思う。誰でも参加できるようなところで、新しい関係性が作れるから参加したいという方もいる。講座だと関係性を作るところまでは、なかなか難しい。
- ・最近の10年ぐらいで「まちづくり」というキーワードは、そこまで惹きつけられるものではなくなってきてしまった。しかし、参加する人がまちづくりに関心がないわけではない。芸術とか文化の分野という切り口での参加もある。
- ・活動団体と参加希望者のキーワードが一致すると参加しようとなる。
- ・講座終了後にどんなアクションが起きるかが重要。
- ・実際にまち歩きや活動現場を見るようなものがよい。
- ・楽しそうだという興味がわかれば、有料講座であっても参加すると思う。
- ・講座で学んだことが他の人にも影響、波及するようなものだとよいと思う。
- ・

○事務局よりプロボノプログラムについて説明

- ・課題解決に向けたアドバイスをしてくれるカウンセラーとして団体に入ってもらおう。
- ・困っている組織を助けてくれる仕組み。現役企業で働いている方のスキルを活かすことができる。
- ・支援を希望する団体がありましたら、市役所にご相談ください。

次回開催について

事務局より次回日程を提案

6月26日（火） 午後1時30分～ 601会議室 で決定